

昔楚正天 くまのてん 哲學者。明治二十二年九月、二十日香川縣生れ（一九〇一）。京都帝國大學文學部哲學科卒。神奈川大學教授、國學院大學教授歴任。

譯書、シラー著『美と藝術の理論』（昭和十一年七月、二十日岩波書店「岩波文庫」）、ヴオリンゲル著『抽象と感情移入』（昭和二十八年九月五日岩波書店「岩波文庫」）、ヤスパー大著『ニーチェの實存的意義』（昭和二十九年十一月、二十日新潮社「新潮文庫」）、同『ニーチェの生活』（昭和二十九年十一月、二十日新潮社「新潮文庫」）、同『哲学入門』（昭和二十九年十二月、二十五日新潮社「新潮文庫」）、同『ニーチェの根本思想』（昭和三十年一月、二十一日新潮社「新潮文庫」）、同『理性と實存』（昭和三十年二月十五日新潮社「新潮文庫」）、同『現代の精神的課題』（昭和三十年八月十日新潮社「一時間文庫」）等。著書『社會思想史十講』（合著・社會思想研究會編、昭和二十二年五月一日社會思想研究會出版部）、『世界危機と現代思想』（山本新共編、昭和二十九年四月、二十日理想社）等。

